

財団公式ウェブサイト リニューアル

財団のウェブサイトは、リニューアルをするとともに、URLの変更をいたしました。

<http://mitaka-sportsandculture.or.jp>

より情報が探しやすい、読みやすいサイトを目指し、デザインを全面的に一新しました。今後もより一層、内容の充実にも努めてまいりますので、引き続きご愛顧くださいますよう、お願いいたします。



MARCL+ (マークルプラス) になりました!

財団の情報誌MARCLは、今までの芸術文化事業の情報に加えて、新たにスポーツ事業と生涯学習事業の情報も発信していきます。情報誌の名称をMARCL+ (マークルプラス) と改め、皆様の生活をより豊かなものにする情報を“プラス”して充実した魅力的な誌面づくりに努めてまいります。また、次号MARCL+ 135からは、デザインをリニューアルしてお届けいたします。どうぞお楽しみに!

チケットのお求め方法

* 発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター Tel: 0422-47-5122 (10:00~19:00)

窓口販売 販売場所 芸術文化センター / 三鷹市公会堂 (さんさん館) / 美術ギャラリー 受付時間 10:00~19:00
休館日 月曜日 (月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
*美術ギャラリー臨時休館日 4/11(火)、12(水)、18(火)~21(金)

インターネット予約 (要事前登録)

パソコン <http://mitaka-art.jp/ticket> 携帯 <http://mitaka-art.jp/ticket-m> (座席自動探番)

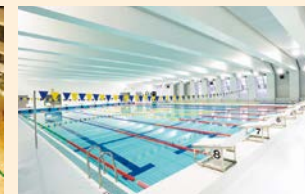
ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

口座番号 (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター

* 備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に(予約番号)をご記入ください。* 普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。* 振込手数料はお客様のご負担となります。* お振込後、10日程度でチケットをお届けします。



MARCL+ I34 April 2017



SUBARU総合スポーツセンター 生涯学習センター オープン

(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ内)

▶P19-20

interview

劇団小松台東
松本哲也×川村紗也×荻野友里

workshop

滝平二郎の世界展ワークショップ
ホールのお仕事体験講座

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

ジョルディ・サヴァール (ヴァイオリン)

アンサンブル・ウィーン=ベルリン

アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン)

& セドリック・ティベルギアン (ピアノ)

劇団小松台東

リリー・フランキー 太宰を聴く

CINEMA SPECIAL 三回忌・原節子

柳家さん喬

立川志らく

柳家喬太郎

古今亭菊之丞

柳家喬太郎のこども寄席

寄席井心亭

色あせない風景 滝平二郎の世界展

企画展 銀幕の有三文学

山本有三記念館 長期休館のお知らせ

企画展示 もの語りの始めかた

太宰治作品朗読会

SUBARU総合スポーツセンター

生涯学習センター

オープン



色あせない風景 滝平二郎の世界展



1

滝平二郎^{たきだいらい じろう}は、1921（大正10）年茨城県新治郡玉川村（現・小美玉市）の農家の次男として生まれました。子どもの頃から絵本や講談本に親しみ、高校時代は漫画サークルに加入し風刺漫画の制作に傾倒します。卒業後は独学で木版画を習得し、身近な農村の日常を題材にした作品を制作し展覧会へ出品するなど画家を志します。徴兵により一時中断を余儀なくされますが、終戦の後に自然とともに生きる人々の姿や自身の戦争体験を題材とした作品を発表し、木版画家としての地位を確立します。

それらの版画作品と並行して、1950年代後半から本の装幀や挿絵の仕事を手がけます。特に児童文学作家・斎藤隆介（1917-1985）との出会いによって、絵本『八郎』（1967）を皮切りに『花ざき山』（1969）、『モチモチの木』（1971）など数々の名作を生み出しました。当初は手書きであった挿絵ですが、木版を経て60年代後半から〈きりえ〉へと移行し、1969年から朝日新聞紙上でもきりえの掲載を開始します。高度経済成長の日本において急速に失われつつあった昔懐かしい農村の風景や遊びなどを温かな色彩で描き出したこの連載は、大きな反響と人気を呼び、その後10年間にわたって継続しました。

本展では、2009（平成21）年に亡くなった滝平二郎の画業を振り返り、知られざる初期の木版画からきりえへと移行した中期の絵本原画、人気を博した新聞連載の原画まで、その詩情あふれる作品群を紹介します。

4月22日（土）～7月2日（日）

●出品点数：約200点

会場 三鷹市美術ギャラリー Tel:0422-79-0033 三鷹市下連雀3-35-1 *JR三鷹駅（南口）前 CORAL5階

開館時間：10:00-20:00（入館は19:30まで） 休館日：月曜日

観覧料：会員480円／一般600円／65歳以上・学生（大・高）300円 *中学生以下および障害者手帳等をお持ちの方は無料

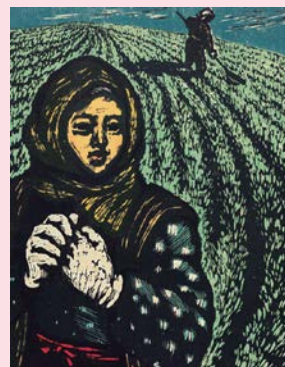
特別協力：滝平二郎事務所 協力：岩崎書店、福音館書店、株式会社キュレイターズ



2



3



4



5

関連プログラム

小学生対象ワークショップ 変身!! ひっくりかた

6月3日（土）10:30-15:30

会場 三鷹市美術ギャラリー、
三鷹市芸術文化センター

対象・定員：小学生20人

参加費：2,000円

応募締切：5月23日（火）必着

*内容、申込方法などの詳細は
財団ウェブサイトをご覧ください。

- 1:《さくら》1973年 22.5×23.5cm
きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩
- 2:《花ざき山》1969年 25.2×42.5cm
きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩
- 3:《モチモチの木》1971年 28.5×48.5cm
きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩
- 4:《麦畑》1953年 36.0×28.6cm
木版/和紙、油性多色摺り
- 5:《八郎》1967年 33.0×48.6cm
木版・きりえ/和紙・洋紙、墨・油性多色摺り

©JIRO TAKIDAIIRA OFFICE Inc.

ワークショップ

美術ギャラリー

美術



interview 〈インタビュー〉

こ まつ だい ひがし 小松台東 『山笑う』

見終わったあと、懐かしくて、優しい気持ちになれる作品だと思います。
その上で、時に荒々しく、そして生々しいほどの人間関係を描いて、
良い意味での“座りの悪さ”のようなものを、舞台上で表現できたらと思います。

何気ない会話がいつしか、人間関係を見事に浮かび上がらせていくその手腕に、
舞台上にテレビドラマにと、数多くの執筆依頼が寄せられている、劇団『小松台東』の松本哲也さん。
2014年に初演され好評を博した『山笑う』の再演を前に、作・演出・出演の松本哲也さん、
出演の川村紗也さん、荻野友里さんに、お話をうかがいました。

この作品は、川村さんが作られた演劇ユニット
『僕たちが好きだった川村紗也』の第一回公演
(2014年12月/新宿眼科画廊 スペース地下)として、
松本さんの作・演出で、初演されました。

川村 ユニットを立ち上げるにあたって、少人数の
会話劇をやりたいと思ったんです。松本さんの舞台は
数年前から見ていて、素敵な会話劇を書かれる方
だなと思っていましたが、「小松台東」の『勇気出し
てよ』の初演(2014年10月/下北沢OFF・OFF
シアター)がとても良かったので、見終わったあと
「公演をやりたいんです!! 脚本・演出をお願いでき
ませんか?」とお願したらOKをもらえたんです。

荻野 川村さんから「自分のユニットを作ったから、
是非出演して!一緒にやろう!」と声をかけられたの
ですが、実は私は松本さんの舞台を見たことが
なかったんです。でも、旧知の川村紗也という女優の
ことは信じていたので「松本さんの舞台すごく良いん
だよ!絶対気に入るから!」と熱弁を振るわれたので、
彼女がそこまで言うんだったらと(笑)。

松本 僕は脚本・演出を頼まれて、最終的には
出演もしました。宮崎弁の芝居を、自分の劇団以外に
書くのは初めての経験だったのですが、書き慣れた
方言で書かせてもらったこともあり、筆は割と早く
進みましたね。

『山笑う』というタイトルは、
どのように決まったのでしょうか?



川村紗也

松本 川村さんが決めましたね。
川村 松本さんにもいくつかタイトル
案を出していただいたのですが、最終
的に、偶然ふっと見つけた『山笑う』と
いう言葉の響きが気に入って、これに
してもらいました。

俳句の、春の季語のようですね。

川村 実は、きちんとした言葉の意味は知らなくて、
あとで調べました(笑)。でも知れば知るほど良い
言葉だなと思って、すっかり気に入ってしまい、これ
しかない。

※『山笑う』: 俳句で、草木が萌え始めた、のどかで明るい春の山の形容。

初演は12月でしたが、今回は5月です。
『山笑う』というタイトルに、
よりふさわしいかもしれませんね。

松本 そういえばそうですね。実は僕自身も、その
言葉を知らなかったんです。でも、そのタイトルを
頭の片隅に置きながら書き始めていったら、ああ、
良い言葉だなと思いましたね。

その初演を拝見しましたが、
とても素晴らしい舞台でした。

荻野 評判は良かったですね。家族の
話ですし、公演が年の瀬だったという
のもあって、もうすぐ帰省するという人も
多くて、お客様の気持ちにマッチしたの
かもしれませんね。

松本 いい話だと言ってくれる人が多かったの
ですが、おそらく、僕も含めて役者全員が「いい話
でしょう」という感じをお客さんに出すことがない人
ばかりで、逆にそんな風に「いい話」だと伝わることに
少し照れるというか、恥ずかしいという感覚を持って
いる人ばかりだったから、それが良い塩梅で、お客
さんに届いたのかなあとと思います。自分の劇団で
ある「小松台東」では、その感覚はとても大事に
しているので、それを共有できる人ばかりだったので、
だからこそ、お客様の胸に届いたのかもしれないな
と思いますね。

再演にあたってどのように臨めますか?

松本 初演から2人キャストが変わりますが、僕の
芝居によく出てくれている、信頼できる男優さんの
出演が叶いました。台本に関しては、大きく変更する
ことはしないつもりですが、今読み返してみると、
脚本として少し“お行儀が良いなあ”と感じたので、
稽古の段階で少しだけ、“行儀が悪い”と言うほど
ではないですが、“整い過ぎていない”人間関係の



荻野友里

荒々しさとか、生々しい部分も入れていけたらなあ
と思います。

荻野 再演が決まったときに、松本さんに「初演と
同じ芝居はさせないよ。色々もって出してもらおうよ。」
と言われたので、これは望むところだと(笑)。

川村 松本さんが、「少し行儀悪くしていくよ、整い
過ぎないようにするよ。」と仰っているのを聞いて、
すごく良いなあ。これはまた面白くなるぞという
思いを強くしました。とにかく信頼できる役者さん
ばかりというのが本当に大きくて、その中で、私も
初演と同じではない、色々な味を出していけたらと
思うと、ワクワクする気持ちしかないです。

では最後にお客様へのメッセージをお願いします。

松本 見終わったあと、懐かしくて、優しい気持ちに
になれる作品だと思います。その上で、初演よりも更に、
生々しく人間を描いていけたらと思っていますし、
そういう意味での“座りの悪さ”のようなものを出して
いけたらと思っています。今回の再演に『山笑う』に
対してのすべてのエネルギーを注いで、「もうこれが
ベスト、もうこれ以上の『山笑う』はない、
もう再演しなくてもいい」と思える
くらい、突き詰めて稽古してって、
いい作品にしたいと思いますので、
ぜひ、お見逃しなくということで(笑)。
ご来場をお待ちしております。



松本哲也

12月13日 三鷹市芸術文化センターにてインタビュー
インタビュー: 当財団演劇企画員 森元隆樹

ここで紹介しきれなかったインタビューの全文は、財団ウェブサイトに掲載しております。

小松台東 『山笑う』

作・演出・出演 松本哲也

5月19日(金)~28日(日) 全12公演

出演 川村紗也、瓜生和成、荻野友里、
山田百次、尾倉ケント、松本哲也

写真『山笑う』初演 2014年12月 会場: 新宿眼科画廊 スペース地下 撮影: 下田直樹

【あらすじ】

女手一つで兄妹を育ててくれた母が死んだ。その通夜の晩。
母に反抗し続けていた妹が東京から帰ってきた。闘病中の
母を一度も見舞わなかった薄情者の妹を兄が待ち構える。
責められることを覚悟していた妹は、自分の身を守る為なのか、
東京から恋人を同伴させた。歓迎する者、呆れる者、様々な
反応が入り交じる中、兄だけは怒りを抑えきれずにいた…。
斎場の片隅にある親族控室で、母への想いを巡り、家族が
激しく、そして醜く、ぶつかり合う。

『山笑う』公演詳細は、次のページ ➡

妹が実家に帰ってきた。
ずいぶん母に心配させた妹が、母が死んでようやく。
なぜか得体の知れない男を連れて。
なんでよりによってこんな日に・・・。
全編宮崎弁で贈る、哀歓の物語。



作・演出・出演
松本哲也

小松台東『山笑う』

5月19日(金)～28日(日) 全12公演

	5/19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日
14:00	☆(託)	☆(託)	☆				★	★	●	●
19:00	☆	☆(託)		休館日				●	●	●

☆早期観劇割引 ★平日マチネ割引 【託】託児サービス実施
■アフターイベントあり *詳細は決定次第、財団WEBやTwitterで発表します。

チケット発売日 会員4月13日(木)/一般4月14日(金)

全席自由 (日時指定・整理番号付) **託児あり** *5/20(土)のみ

【会員】前売3,100円・当日3,400円 【一般】前売3,500円・当日3,800円

【学生】2,000円(前売・当日とも) 【高校生以下】1,000円(前売・当日とも)

☆早期観劇割引 ★平日マチネ割引の公演は、会員・一般のみ各300円引き。

今回の公演に寄せて、松本哲也さんからのメッセージ

「山笑う」は2014年「僕たちが好きだった川村紗也」というユニットに書き下ろした宮崎弁の作品です。外部公演に宮崎弁の芝居を提供することは珍しいのですが、本作は多くのお客様から好評頂き、是非、「小松台東」でも上演してほしいとの声を頂戴しました。

という訳で、初演から3年。キャストを一部改め、「小松台東」色を強めにし、満を持して三鷹市芸術文化センター星のホールにて上演いたします。ご期待ください。



川村紗也



瓜生和成



荻野友里



山田百次



尾倉ケント

劇団プロフィール

作・演出を務める松本哲也の一人劇団。2010年の旗揚げ以降、出身地である宮崎県を話の舞台に、現代「宮崎弁」口語演劇を行っている。のんびりとした宮崎弁から繰り広げられる小松台東の物語は、切なく可笑しく暖かい。

HP | <http://komatsudai.com>

Twitter | @komatsudai



©HIROSHI NOMURA

6月16日(金) 19:00開演

チケット発売日 会員4月22日(土)/一般4月27日(木)

全席指定 会員2,700円/一般3,000円
学生2,000円/高校生以下1,000円

予約1回 **2枚まで**



託児あり
*未就学児は入場できません。

出演 リリー・フランキー

朗読作品 未定

今なお世代を越えて読み継がれている太宰治は、昭和14年9月に三鷹市(当時は三鷹村)下連雀に居を構え、戦時中の疎開時代を除き、昭和23年にこの世を去るまで、この地で暮らしました。太宰の眠る禅林寺は、芸術文化センターのすぐそばにあり、毎年6月19日の「桜桃忌」には、たくさんの太宰ファンが訪れています。

桜桃忌の季節に合わせて始めた「太宰を聴く」も17回目を迎えました。本年、朗読をお願いするのは、イラストレーターや小説家としても名高く、近年は映画にTVに舞台にと、俳優としても素晴らしい活躍をされているマルチプレイヤー、リリー・フランキーさんです。ご期待ください。

第17回

太宰を聴く

朗読会 太宰治

第17回

太宰を聴く

朗読 太宰治



*朗読作品は、決定次第、財団ウェブサイトや財団Twitterにて発表します。

*朗読会の冒頭に数分間程度、三鷹市長からのごあいさつ、および三鷹市と筑摩書房の共同主催による第33回太宰治賞受賞者のご紹介を予定しています。

予約1回 **2枚まで**

予約1回あたりの購入枚数制限について
このマークの公演は発売初日に限り、1回の電話(またはインターネット)での購入可能枚数に制限がございます。制限枚数以上をご希望の場合は、再度電話をいただく(インターネットでは初期画面から操作を行う)必要がございますのでご了承ください。

CINEMA SPECIAL

三回忌・原節子

「麥秋」 ©1951 松竹株式会社

「三回忌・原節子」プログラム

日程	作品名	監督	製作年	チケット発売日
5月13日(土)	『河内山宗俊』	山中貞雄	1936	会員4月13日(木)／一般4月14日(金)
	『巨人傳』	伊丹万作	1938	
6月10日(土)	『母の曲(総集篇)』	山本薩夫	1937	会員5月11日(木)／一般5月12日(金)
	『わが青春に悔なし』	黒澤 明	1946	
7月22日(土)	『安城家の舞踏会』	吉村公三郎	1947	会員6月8日(木)／一般6月9日(金)
	『晩春』	小津安二郎	1949	
9月23日(土・祝)	『青い山脈』	今井 正	1949	会員7月20日(木)／一般7月21日(金)
	『続青い山脈』	今井 正	1949	
10月14日(土)	『誘惑』	吉村公三郎	1948	会員9月21日(木)／一般9月22日(金)
	『白痴』	黒澤 明	1951	
11月18日(土)	『お嬢さん乾杯』	木下恵介	1949	会員10月12日(木)／一般10月13日(金)
	『麥秋』	小津安二郎	1951	
12月16日(土)	『東京の恋人』	千葉泰樹	1952	会員11月16日(木)／一般11月17日(金)
	『めし』	成瀬巳喜男	1951	
2018年 1月27日(土)	『驟雨』	成瀬巳喜男	1956	会員12月14日(木)／一般12月15日(金)
	『東京物語』	小津安二郎	1953	
2月17日(土)	『女であること』	川島雄三	1958	2018年 会員1月25日(木)／一般1月26日(金)
	『智恵子抄』	熊谷久虎	1957	
3月10日(土)	『娘・妻・母』	成瀬巳喜男	1960	会員2月15日(木)／一般2月16日(金)
	『秋日和』	小津安二郎	1960	

平成二十七年九月五日。

多くの人々の、女優・原節子への再会の願いを叶えること無く、一人の女性として、会田昌江は、静かに、その生涯を閉じる。

享年、九十五歳。

それはまるで、ただの一度も引退の言葉を口にすることなく、四十二歳の若さで銀幕を去った、あの時のように。静かに。

三回忌、原節子。

もう一度、会いたい。

【原 節子】

1920年(大正9年)6月17日、神奈川県横浜市保土ヶ谷町(現在の横浜市保土ヶ谷区)に生まれる。本名、会田昌江。1935年(昭和10年)8月、15歳の時に、田口哲監督作品『ためらふ勿れ若人よ』でデビュー。その映画での役名「節子」をもとに、当時の撮影所長が「原 節子」の芸名をつけ、以後、スタッフからは「お節ちゃん」と呼ばれる。その後、生涯で100本を超える映画に出演したが、1962年(昭和37年)11月に封切られた稲垣浩監督作品『忠臣蔵 花の巻、雪の巻』を最後に、42歳の若さで銀幕から去り、以後、表舞台に出ることは一切無かった。2015年(平成27年)9月5日死去。享年95歳。

各回2本立て／昼夜入替制／1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり

全公演 昼の部 11:00 / 夜の部 16:00 上映開始 ＊未就学児は入場できません。

全席指定 各回 会員900円／一般1,000円／学生800円

特別協力：東京国立近代美術館フィルムセンター 協力：東宝株式会社、松竹株式会社、日活株式会社

5月13日(土)

チケット発売日 会員4月13日(木)／一般4月14日(金)

	昼の部	夜の部
河内山宗俊	11:00-12:22	16:00-17:22
巨人傳	13:00-15:07	18:00-20:07

戦火に散った夭折の天才、山中貞雄監督が残した、十五歳原節子の姿。



©日活

『河内山宗俊』(1936年/日活太秦/82分/白黒/デンタル)

監督・原作：山中貞雄 脚本：三村伸太郎

出演：原 節子、河原崎長十郎、中村砥右衛門、市川扇舟、山岸しづ江、助高屋助蔵

若さゆえに粋がりで、悪場所に通い続ける弟に、心を痛める姉(原節子)。どんなに諫めても耳を貸さない弟は、ある時、ついに道を踏み外してしまい……。若くして天才と謳われながらも、若干28歳で戦病死した山中貞雄監督が描きあげるラストシーンの迫力は、圧巻の一言。そして、十五歳の原節子の初々しき姿も必見の、傑作である。

『レ・ミゼラブル』を下敷きに、人生の悲哀を描いた、伊丹万作監督の遺作。



©1938 東宝株式会社

『巨人傳』(1938年/東宝/127分/白黒/35mm)

監督・脚本：伊丹万作

出演：原 節子、大河内傳次郎、佐山 亮、堤 真佐子、丸山定夫、汐見 洋

慈善家として慕われ、町長にまでなった大沼には、誰にも言えない過去があった。ある時、ふとしたきっかけで、その素性を警官に気付かれてしまった彼は、以後、執拗に追われ続け……。『レ・ミゼラブル』を西南戦争時代の日本に置き換えた、伊丹万作監督の遺作。原作における「コゼット」役の原節子は、無垢で可憐な少女を、爽やかに演じている。

6月10日(土)

チケット発売日 会員5月11日(木)／一般5月12日(金)

	昼の部	夜の部
母の曲 総集篇	11:00-12:31	16:00-17:31
わが青春に悔なし	13:05-14:55	18:05-19:55

母を思いやり、常に明るく生きる女学生を原節子が好演する、親子の絆の物語。



©1937 東宝株式会社
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

『母の曲(総集篇)』(1937年/東宝/91分/白黒/35mm)

監督：山本薩夫 原作：吉屋信子 脚本：木村千依男、八住利雄

出演：原 節子、英百合子、岡 譲二、入江たか子、丸山定夫、三島雅夫

女工時代に見初められ、新進気鋭の学者のもとに嫁いだ“お稲”。しかしそこに待っていたのは、上流階級婦人たちの冷たい視線であり、彼女は次第に心も体も疲れ果てていき……。そんな母親を思いやり、時にはその辛い思いを慰めながら、何があっても明るく女学校に通う娘を原節子が好演。ラストシーンに至る、母と娘の絆の物語を、見事に紡いでいく。

黒澤明監督作品に初めて出演した原節子が、「女性の自我」を見事に演じ切る。



©1946 東宝株式会社

『わが青春に悔なし』(1946年/東宝/110分/白黒/35mm)

監督：黒澤 明 脚本：久板栄二郎

出演：原 節子、藤田 進、河野秋武、大河内傳次郎、志村 喬、杉村春子

昭和8年に起こった「滝川事件」や、その後の「ソルゲ事件」をもとに作られた、黒澤明監督の戦後第一作。自由主義追放の嵐が吹き荒れる中、大学を追われることとなった教授の娘を演じた原節子は、これが黒澤明作品への初出演。「自我の強い女性を描きたい」と作品に挑んだ黒澤の思いに、原は、驚くほど鋭い眼光で、見事に応えてみせた。



撮影：横井洋司

その滑らかさは 強さに満ちて
至福の語り 柳家さん喬

柳家さん喬 独演会

6月24日(土) 昼の部 14:00/夜の部 18:00 開演

チケット発売日 会員 4月22日(土)/一般 4月27日(木)

全席指定 各回 会員 2,700円/一般 3,000円
学生 2,000円/高校生以下 1,000円

託児あり
*未就学児は入場できません。

*昼の部と夜の部は
別の演目です。

その淀みなき語り口に、いつしか、
江戸の街並みが目の前に浮かび、人情が胸に迫る。
時に柔らかく、そして、時に力強く、
まさに柳のごとく心に届く、至福の語話。
涙を誘われずにいられない人情噺にも、
温かな自然な笑いに満ちた滑稽噺にも、
今、まさに円熟の高座に臨む、
柳家さん喬師匠の落語を、どうぞご堪能ください。



ニックス

前座 柳家山多
落語 柳家山多
落語 柳家山多
漫才 ニックス
落語 柳家さん喬
お囃子 岡田まひ社中

芸術文化センター 星のホール

落語

高座に満ちるは ほととほる才氣
切れ味無双 立川志らく

立川志らく 独演会

7月8日(土) 昼の部 14:00/夜の部 18:00 開演

チケット発売日 会員 4月16日(日)/一般 4月18日(火)

全席指定 各回 会員 2,700円/一般 3,000円
学生 2,000円/高校生以下 1,000円

託児あり
*未就学児は入場できません。

*昼の部と夜の部は
別の演目です。

高座に満ち溢れる、ほととほる才氣。決してぶれることのない、落語への愛。
湧き出るアイデアを瞬時に噺に盛り込んでいく、他の追随を許さぬ豪快な切れ味。
夏の入口、立川志らく師匠の落語で、爽快に、心の暑気払いはいかがでしょうか。



撮影：山田雅子

予告 次号『MARCL+135』(5月30日発行)にて
発売予定の主な落語公演

●桃月庵白酒独演会	9月 2日(土) 14:00	星のホール
●柳家権太楼独演会	9月 24日(日) 14:00	星のホール
●柳亭市馬独演会	10月 15日(日) 14:00	星のホール

(ほか)

その一席に、磨きかけず
挑み続ける、喬太郎勉強会

柳家喬太郎 みたか勉強会

7月15日(土) 昼の部 14:00/夜の部 18:00 開演

チケット発売日 会員 4月16日(日)/一般 4月18日(火)

全席指定 各回 会員 2,250円/一般 2,500円

託児あり *未就学児は入場できません。

各回
予約1回 4枚まで

*昼の部と夜の部が、
同じ演目になるか違う
演目になるかは未定です。

喬太郎さんご自身が、今、チャレンジしたい噺や、久しぶりに高座に掛けたい噺を、
じっくりとお客様に聴いていただくために開催する、“勉強会”と銘打った落語会。
果たしてどの噺が語られるか、その心意気に満ちた高座から、今回も目が離せません!



粋でいなせな、その語り口
江戸へいざなう、古今亭菊之丞

古今亭菊之丞 独演会

7月23日(日) 14:00 開演

チケット発売日 会員 4月22日(土)/一般 4月27日(木)

全席指定 会員 2,700円/一般 3,000円
学生 2,000円/高校生以下 1,000円

託児あり *未就学児は入場できません。

まるで“江戸の町から抜け出した、
粋でいなせな若旦那”の如き様子の良さと、
軸のぶれない、滑らかな語り口で観客を魅了し続ける、古今亭菊之丞。
夏の一日、菊之丞師匠の落語で、
ぜひ“心の涼”をお取りいただければと思います。

予約1回 2枚まで

予約1回 4枚まで

予約1回あたりの購入枚数制限について
このマークの公演は発売初日に限り、1回の電話(またはインターネット)での購入可
能枚数に制限がございます。制限枚数以上をご希望の場合は、再度電話をいただく
(インターネットでは初期画面から操作を行う) 必要がございますのでご了承ください。



利益の発生するチケットの
転売を禁止いたします

インターネットオークションや金券ショップ等における、利益の発生する
チケットの転売は、いかなる理由においても固くお断りいたします。

三鷹のこども寄席

ぼくも、わたしも、
寄席で笑え！
柳家喬太郎さんの
落語で笑え
するのだ!!

お子さん、お孫さんと寄席にいらっしやいませんか？
今年は、人気実力ともに群を抜く、柳家喬太郎さんが登場！
子どもたちに、生の舞台の魅力を、たっぷり楽しんでもらってください！

7月9日(日) チケット発売日 会員4月25日(火)/一般4月26日(水)

未就学児の回 11:00開演(約1時間・休憩なし)

全席指定 会員900円/一般1,000円
小・中学生500円/未就学児無料 0歳～入場可
※ロビーに、おもつ替えのコーナーもございます。

小学生以上の回 14:00開演(約2時間・休憩あり)

全席指定 託児あり 小学生以上の回のみ
会員1,800円/一般2,000円/小・中学生1,000円

未就学児の回 (こども)
つ〜る〜がたのしかった。
おいもがどんぶらこがおもしろかった。
(5才・男子)

たのしかった。なみだが出た。またきたい。
(5才・男子)

子供たちが夢中になっている
姿を間近で見るのは嬉しい、
私もいっぱい笑ってスッキリしました！
(30代・女性)

2歳の娘も夢中になって聞いていました。
一生懸命真似して、こちらも思わず笑ってしまいました。
あと、小学生の案内係がとても素晴らしかったです。
(20代・女性)

昨年の
アンケートより

小学生以上の回
(こども)

おもしろすぎて、
ほとんどわらっていたので、
とちゅうでおなか
いたくなりました。
(小1・女子)

てぬぐいやせんすなのに、
さいふになったり、おそばを食べたり、
本物みたいですごかったです。
(小6・女子)

親子ともども
楽しめました！笑ったー！
親と子供と一緒に笑わせるなんて
スゴイ！また来たいです！
(40代・女性)

小学生以上の回
(おとな)

子供、大うけ!! 楽しい会でした。
落語は、子供と一緒にCDで聞いたことがありますが、
生で聞くと面白さがひときわ大きく感じました。
(40代・女性)

柳家喬太郎



柳家喬太郎さんからの
メッセージ
落語というのは、
むずかしいものではありません。
あかるく、たのしく、
おもしろいものです。
なつ休みにはいるまえに、
落語をきいて、
たくさんわらって、
あつさをふきとばしてください。



のだゆき

出演
柳家喬太郎(落語)、
のだゆき(音楽パフォーマンス)、
柳家小太郎(落語)

『三鷹のこども寄席』関連企画

“未就学児の回”の案内係の小学生募集!!
みんなで一緒に、お客さまをお迎えしよう!

7月9日(日) 参加費無料 往復はがき申込

9:30 星のホール集合(12:30 終了予定) 対象・定員: 小学校4〜6年生・10人(応募多数の場合は抽選)

【体験内容】

- ★チケットの引き換え
- ★当日券の販売
- ★入口でチケットもぎり
- ★パンフレットのお渡し
- ★客席へのご案内
- ★クローク係
- ★開演前に注意事項の説明
- ★終演後のアンケートの回収



写真は昨年の
案内係の様子です

【ご注意】

終演時間まで、色々なお仕事を体験していただくため、
参加者は11:00からの公演を、客席で観ることはできません。
※お仕事中の写真やビデオ撮影はご遠慮ください。
財団で撮影した写真と映像を、後日プレゼントいたします。

【昨年の参加者アンケートより】

- ・「席を教えてください」と言われ、教えたら「ありがとう」と
言われたのがうれしかったです。(小5・女子)
- ・とてもやりがいがあり、とくに物品販売が楽しかったです。
よく売れて商売はじょうでした。
ぶたいうらも見学できてうれしかったです。(小5・男子)

【応募方法】 往復はがきに、①催し物名「こども寄席案内係」、

- ②住所、③お子様の名前(フリガナ)、学年(兄弟でお申込の場合は、1通のはがきに、全員分お書きください。)
- ④保護者の氏名(フリガナ)と電話番号、⑤保護者の方がマークル会員の場合は会員番号 をご記入ください。

※返信の表面にも(住所・氏名)をお書きください。
※お友達同士でお申込みは、別々のはがきでお申込みください。

【宛先】〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14

三鷹市芸術文化センター「こども寄席案内係」宛

【締切】6月20日(火) 消印有効 ※応募多数の場合は、抽選となります。
※抽選結果の葉書は、6月27日(火)に投函します。



毎回必ず独演会 寄席井心亭

座布団百枚のお座敷で聴く、生声での落語が魅力の寄席井心亭。
二最良の方も、初めてという方も、ぜひ足をお運びくださいませ。

会場 みたか井心亭 三鷹市下連雀2-10-48 ※JR三鷹駅南口より徒歩15分。
全席座布団自由 各回 会員1,800円/一般2,000円/学生1,000円



数えて二百六十六夜・水無月
柳家喬太郎
6月14日(水) 19:00開演
予約1回 2枚まで

チケット発売日 会員4月11日(火)/一般4月12日(水)



数えて二百六十八夜・霜月
柳家花緑
11月8日(水) 19:00開演
予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員5月9日(火)/一般5月10日(水)



数えて二百六十七夜・霜月
安山志らく
11月1日(水) 19:00開演
予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員4月25日(火)/一般4月26日(水)



数えて二百六十九夜・霜月
林家たけの平
11月15日(水) 19:00開演
予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員5月30日(火)/一般5月31日(水)

※寄席井心亭では電話とインターネット(パソコン・携帯)での発売枚数の
割合を50%ずつとさせていただきます。(会員発売日は各45枚ずつとなります)

ワークショップ

芸術文化センター 星のホール

みたか井心亭

落語

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第75回定期演奏会

ベートーヴェン 夏のシンフォニー
沼尻竜典の弾き振りによるモーツァルト
ピアノ協奏曲全曲演奏第15弾



トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア (管弦楽)
©YUSUKE TAKAMURA

沼尻竜典
(音楽監督・指揮/ピアノ)
©YUSUKE TAKAMURA

7月29日(土) 15:00開演 **チケット発売日** 会員4月12日(水)/一般4月19日(水)
全席指定 会員 S席5,400円・A席4,500円/一般 S席6,000円・A席5,000円/※U-23(23歳以下)3,500円

●三鷹市内在住・在学の小学生から高校生2,000円
会員・一般券ご購入者と同伴の場合のみ適用(電話予約のみ)

託児あり ※未就学児は入場できません。

♪曲目 オネゲル：夏の牧歌
モーツァルト：ピアノ協奏曲第18番変ロ長調K.456
ベートーヴェン：交響曲第6番へ長調op.68『田園』

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア第75回定期演奏会は、夏の音楽をテーマにした選曲と沼尻竜典の弾き振りで、モーツァルトのピアノ協奏曲から成るプログラムをお贈りします。

冒頭を飾るのは、ブーランク、ミヨーといった若手作曲家グループ、“フランス六人組”の一人、オネゲルが、スイスの景勝地で書いた交響詩『夏の牧歌』。ランボーの詩『イリュミナシオン』の一節に靈感を得たこの作品から、風光明媚なアルプス地方の夏の光景を想起させることでしょ。

そして、“ここ、三鷹でしか聴けない”沼尻竜典の弾き振りでお届けするのは、モーツァルトのピアノ協奏曲第18番。3月の定期演奏会で演奏された第22番と同様に、モーツァルトがウィーンで大活躍していた頃の作品で、才能豊かな女性ピアニスト、パラディスのために作曲されました。初演を聴いた皇帝ヨーゼフ二世が、“ブーラヴォ、モーツァルト!”と叫んだ、と父レオポルトが娘(モーツァルトの姉)ナンネルに書いた手紙が残っており、1年半後に完成する歌劇『フィガロの結婚』に相通じる華やかさ、軽快さも感じられる作品です。

後半は、今年没後190年を迎えるベートーヴェンの

交響曲から、1808年夏に完成の『田園』を取り上げます。2007年の第43回の再演以来、実に10年ぶりの演奏に期待が高まります。初演に用いた第1ヴァイオリンのパート譜に、自ら「田舎での生活の思い出。絵画というよりも感情の表出」などと書き込むなど、単なる自然描写にとどまらず、のどかな田園の印象に基づく感情の表現が垣間見えます。

沼尻の指揮と“ミタカ・フィル”の精緻な合奏から生まれる豊かなオーケストラ・サウンドが、爽やかな風と煌めく太陽の光を運びます。どうぞお聴き逃しなく。

リハーサル見学会

7月28日(金) 14:00-15:00 定員:60人
本公演の前日に行われるリハーサルの一部をご覧いただく見学会を開催します。

【要予約】Tel: 0422-47-5122

【受付開始】 会員4月12日(水)/一般4月19日(水)

【参加方法】 本公演のチケット持参の方は無料。

見学会のみご希望の場合は、
当日500円をいただきます。

好評
企画

古楽界の生きるレジェンド、ジョルディ・サヴァールが誘うケルト音楽の世界

サヴァール・トリオ —ケルティック・ヴィオール

9月16日(土) 15:00開演 **託児あり** ※未就学児は入場できません。

チケット発売日 会員4月12日(水)/一般4月19日(水)

全席指定 会員 S席5,400円・A席4,500円
一般 S席6,000円・A席5,000円
※U-23(23歳以下)3,500円

©Toni Penarroya



出演

ジョルディ・サヴァール (トレブル・ヴィオール&リラ・ヴィオール)
アンドルー・ローレンス=キング (アイリッシュ・ハープ、プサルテリ)
フランク・マグワイアー (バウロン)

©Toni Penarroya

♪曲目 カレドニア・セット (ヴィオール&ハープ)/アイルランド伝承曲：音楽の司祭、スコットランドのメアリー、サッカウのジグ ほか
モイラ卿のセット (リラ・ヴィオール独奏)/ライアンの大コレクション：モイラ卿&人力車 ほか
カロランのハープ (ハープ独奏)/スコットランド伝承曲：トゥーロッパホルムのリール ほか
ラメント・セット/アイルランド伝承曲：タットルのリール ほか
カロランの好きなジグ (ヴィオール&プサルテリ)/カロラン：アビゲイル・ジャッジ&ブランクスティ・ジャッジ ほか
ランカシャー・パイプス・セット (リラ・ヴィオール独奏)/アイルランド伝承曲：一杯のお茶 ほか
ドニゴール・セット (ヴィオール&ハープ)/ドニゴール伝承曲：ガスティのうかれ騒ぎ ほか

ヴィオール(ヴィオラ・ダ・ガンバ)奏者、指揮者として半世紀近くにわたり古楽界を牽引してきた、スペイン・バルセロナの巨匠、ジョルディ・サヴァールが三鷹に初登場。サヴァールは中世からルネッサンス、バロック、さらには古典派の音楽まで、また、スペインなどの地中海を取り巻く地域からフランス、ドイツ、中東、南米、アフリカの音楽を網羅した数々の録音・演奏活動でも知られており、彼独自の視点で組まれた壮大な絵巻物のようなプログラムは、世界各地の聴衆を常に魅了しています。自ら主宰するエスベリオンXXI、ラ・カベラ・レイアル・デ・カタルーニャ、ル・コンセル・デ・ナシオンと共に人々に深い感動を与え、音楽に息づく普遍的なメッセージと美の世界を精力的に伝えてきました。

今回のプログラムは、彼が長年取り組んできたケルト音楽研究の結晶ともいべき2009年と10年にリリースされた2枚のCDの収録曲が中心となっています。アイルランド発祥のジグや、スコットランド発祥のリールといったダンス音楽ほか各地の伝承曲、アイルランド最大の吟遊詩人カカロンの作品、22種類の異

なるチューニングで書かれた作品を多数収めた『マンチェスター・ガンバ・ブック』からの抜粋など、多様な音楽が選ばれています。

共演は、イギリス海峡に浮かぶチャネル諸島のガーンジー島出身でバロック・ハープの第一人者、アンドルー・ローレンス=キングと、バウロン*の名手、アイルランドのフランク・マグワイアーです。ローレンス=キングはザ・ハープ・コンサートの公演(2002年)以来の登場、マグワイアーは初登場です。

時代も国境もジャンルも超越して音楽を見つめるサヴァールが、どこか懐かしく、素朴なぬくもりを持った音楽として人々に長く愛されるケルト音楽に新しい光をあてます。古楽ファンのみならず、チーフタンズやアルタン、ルナサ、エンヤ、アヌーナなどアイルランドの音楽が好きなお客様にもぜひともお聴きいただきたいコンサートです。

*木製の浅いフレームの片側に皮をのばして張り、裏側にある十字または一文字にわたした木を左手で持ち、その手で張力を調節しながら右手に持ったパチで演奏するフレームドラム。

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

木管五重奏の魅力全開、EWBリターンズ!

10月1日(日) 15:00 開演

チケット発売日 会員4月13日(木)
一般4月20日(木)

全席指定 会員 S席5,400円・A席4,500円
一般 S席6,000円・A席5,000円
※U-23(23歳以下/A席限定)3,500円

託児あり ※未就学児は入場できません。

出演 カール＝ハインツ・シュッツ (フルート)
ジョナサン・ケリー (オーボエ)
アンドレアス・オッテンザマー (クラリネット)
リヒャルト・ガラー (ファゴット)
シュテファン・ドール (ホルン)

♪曲目 ツェムリンスキー：ユモレスク バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
ヒンデミット：小室内音楽 リゲティ：6つのバガテル ニーノ・ロータ：ささやかな音楽の捧げ物
ジュリオ・ブリッチャルディ：ロッシーニの歌劇『セビリアの理髪師』による幻想的なホプリ
レスピーギ：木管五重奏曲短調 ペリオ：オーバス・ナンバー・ズー (作品番号獣番) ※奏者によるナレーション付

2015年7月12日に行われた公演のアンケートより

- 全てのパートが完璧で、しかも美しいハーモニー。(40代女性)
- ホールの音響も木管五重奏にもってこいの素晴らしい! スーパープレーヤーズの芸術を堪能しました!(40代女性)
- いいホールでいい演奏。至福の時だった。(50代男性)
- 軽やかで素敵なハーモニー。華やかで美しく、とても感動しました。(60代男性)
- 選曲が良かった。後半のバーバーとデ・リベラは初めて聴く曲で、前半のドイツ・オーストリアそれぞれの対比が鮮やかで、このアンサンブルの凄さ、素晴らしいを堪能した。(70代以降男性)

ウィーン・フィル、ウィーン響、ベルリン・フィルのスター木管奏者たちが集う、アンサンブル・ウィーン＝ベルリン(EWB)が風のホールに戻ってきます! ウィーン国立歌劇場管およびウィーン・フィルのソロ・フルート奏者のシュッツとウィーン響の首席ファゴット奏者、ガラーに加え、ベルリン・フィルからは3人の首席奏者一オーボエのケリー、クラリネットのオッテンザマー、そしてアンサンブルのリーダー的な存在でもあるホルンのドールがメンバーという凄腕揃いのアンサンブルです。

今回のプログラムは、前半にウィーン出身のツェムリンスキーによる「ユモレスク」、ドイツの作曲家、ヒンデミットが、各楽器のキャラクターが際立つように書いた「小室内音楽」に続き、ハンガリー出身のリゲティの作品が続きます。

後半はイタリア特集! 映画音楽の作曲でも知られるニーノ・ロータが書いた、軽やかで親しみやすい

作品、フルーティストでオペラの主題をもとに書いたファンタジー(幻想曲)で知られる作曲家のブリッチャルディ、「ローマ三部作」で有名なレスピーギの作品が続きます。ラストは、動物をモチーフにした4つの曲から構成され、奏者が代わる代わるユーモアと風刺の込められた詩を語りながら演奏する、ペリオの作品です。

今回のプログラムも決めるころはバシッと決め、それでいてユーモアの精神を忘れない、いかにも彼らしい選曲です。前回の公演では吹奏楽部の中高生からウィーン・フィル、ウィーン響、ベルリン・フィルの熱心なファン、幅広い年齢層のお客様が来場され、チケットも完売しました。EWBはもちろん、レ・ヴァン・フランセなど木管アンサンブルの音の魅力を味わい尽くすのに最適と定評ある風のホールで、ぜひ、お聴きください。良いお席はお早目にどうぞ!

アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン) & セドリック・ティベルギアン (ピアノ)

今こそ聴きたい、新時代のデュオ!

もっとも未来へ躍っているヴァイオリニスト、
イブラギモヴァと
盟友、ティベルギアンの“クロイツェル”

10月8日(日) 14:00 開演

チケット発売日 会員4月13日(木)
一般4月20日(木)

全席指定 会員 S席4,500円・A席3,600円
一般 S席5,000円・A席4,000円
※U-23(23歳以下)3,000円

託児あり ※未就学児は入場できません。

出演 アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン)
セドリック・ティベルギアン (ピアノ)

♪曲目
モーツァルト：
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調K.379
シューベルト：
幻想曲ハ長調D934
ベートーヴェン：
ヴァイオリン・ソナタ第9番1長調op.47『クロイツェル』

ロシア出身の若きヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァと、彼女の盟友ピアニスト、セドリック・ティベルギアンの二人が、風のホールに初登場します。

イブラギモヴァは、モスクワのグネーシン音楽学校、メニューイン・スクールとロンドン王立音楽院で研鑽を積み、ロイヤル・フィルハーモニック協会ヤング・アーティスト賞、クラシカル・ブリット・アワード賞ほかを受賞するなど、早くから大きな注目を集め、世界の名立たる指揮者、オーケストラとの共演を重ねています。

ティベルギアンは1998年のロン＝ティボー国際コンクールに優勝、合わせて聴衆賞とオーケストラ賞を含む5つの特別賞を受賞。リサイタルや室内楽はもとより、60曲を超える協奏曲のレパートリーを持ち、世界の著名なオーケストラとの共演ほかで国際的キャリアを重ねています。2005年、二人はイギリスBBC

ラジオ3の「ニュー・ジェネレーション・アーティスト」に選ばれ初共演して以来、定期的なパートナーシップを組んでいます。

今回、三鷹で披露されるプログラムは、ウィーンに縁のあるモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトによる3作品。モーツァルトの青春時代の揺れ動く繊細な心情が聴き取れるソナタ、シューベルト最晩年の傑作、そしてベートーヴェン本人が『ほとんど協奏曲のように、相競って演奏されるヴァイオリン助奏つきのピアノ・ソナタ』という副題を付けた、華麗でダイナミックな『クロイツェル』です。現代若手屈指のベートーヴェン演奏と評価されたライブ盤CD『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集』にも収録され、また2013年の来日公演でも好評を博したことから、大きな期待を寄せる方もいらっしゃるでしょう。才気煥発、話題のデュオに、どうぞご期待ください。

音楽

芸術文化センター 風のホール

銀幕の有三文学

三鷹市山本有三記念館 開館20周年記念企画展



企画展「銀幕の有三文学」 会期延長のお知らせ

現在開催中の企画展「銀幕の有三文学」の会期を、下記のとおり延長いたします。延長に伴い、畑三郎コレクションより新たな映画資料が加わります。銀幕を彩った数々の有三映画の世界を、華やかなポスターや雑誌などの多彩な資料とともに楽しみください。

2016年9月16日(金)
～2017年5月31日(水)

休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館)

開館時間：9:30～17:00

入館料：300円(20名以上の団体200円)

*中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、
校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。

主催：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団/三鷹市

協力：畑三郎コレクション



「女の一生」
昭和8(1933)年
中央公論社
装幀 中村研一

三鷹市山本有三記念館 長期休館のお知らせ



休館期間

2017年6月1日(木)～2018年3月下旬

三鷹市山本有三記念館は、施設の改修工事実施に伴い、長期休館いたします。皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

*有三記念公園は、工事の状況によりご利用いただける場合があります。
詳細は、財団ウェブサイト等でお知らせします。

太宰治文学サロン 企画展示 もの語りの始めかた

6月4日(日)まで開催中

太宰文学が若老男女問わず幅広い支持を得ている理由に、語りかけてくるかのような独特の文体であることが挙げられます。さらに、太宰は我が身を削るかのように実体験を織り交ぜ、筆舌につくしがたき人間固有の心情を表現することで才筆を振るっています。

しかし、文体やストーリー性だけでなく、読み始めの段階で、既に太宰に心を掴まれる読者も少なくないでしょう。太宰作品は、印象的で探究心をそそる書き出しのものが多くあることも、魅力の一つといえます。

太宰治(本名津島修治)は、昭和8(1933)年に筆名を定め、作家として本格的に歩を進めます。駆け出しともいえるこの時期の作品一つをとってみても、既に、太宰が読み手の心を捉える物語の始



めかたを習得していることがわかります。本展では、井伏との共著「洋之助の気焔」や初の創作集『晩年』から「葉」や「玩具」をはじめとして、冒頭から読者の心を掴む印象的な作品を紹介しています。

限定部数500部と稀少な『晩年』の初版本や、芥川賞獲得を懇願し川端康成に宛てた別名「泣訴状」と呼ばれる書簡(複製)など、多彩な資料でお楽しみください。

太宰治作品朗読会 各回 18:00開演(18:50終演予定)

第84回 4月21日(金)

出演 山田誠浩(元NHKエグゼクティブアナウンサー)

朗読作品 「誰も知らぬ」「兄たち」



大河ドラマ「おんな太閤記」やNHKスペシャルのナレーション、「私の本棚」「ラジオ文芸館」の朗読、「ラジオ深夜便」アンカーなどをつとめた山田誠浩さんによる朗読です。夫人が胸に秘めていた思い出を告白する「誰も知らぬ」と、生家への思い出を描いた「兄たち」の2作品です。

第85回 5月19日(金)

出演 鈴木千秋(朗読家、「幸風」代表)

朗読作品 「散華」



舞台朗読の第一人者・幸田弘子氏に師事。太宰治、樋口一葉、夏目漱石など近代文学作品の朗読や、「おくのほそ道」「源氏物語」など古典の朗読も行っています。毎年朗読公演を行うほか、大学で朗読講師を担当するなど活躍の幅を広げています。毎回、力強い朗読で観客を魅了する鈴木さんの語りをご堪能ください。

応募締切：第84回4月11日(火)必着/第85回5月9日(火)必着 定員：各回25名 参加費無料

応募方法：往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、

④返信用はがきに宛先をご記入の上、下記太宰治文学サロン「第〇〇回朗読会係」宛にお送りください。

*ご応募は各回につき、お1人様1通のみ。 *応募者多数の場合は抽選。

会場 太宰治文学サロン

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャールダン三鷹1F Tel: 0422-26-9150 入館無料

開館時間：10:00～17:30 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

4月1日(土) 三鷹中央防災公園・ 元気創造プラザ オープン

災害に強いまちづくりと多様な機能が融合した三鷹中央防災公園・元気創造プラザが、4月1日にオープンしました。この施設には、防災対策の促進、子どもの健やかな育ち、高齢者・障がい者を含むすべての市民の福祉の向上ならびに健康の保持増進、生涯学習・スポーツ推進の拠点としての機能が集約されています。当財団は、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの施設管理とスポーツ・生涯学習の教室・講座事業を行います。多くのみなさんのご利用をお待ちしています。【HP】<https://www.mitakagenki-plaza.jp>

住所：三鷹市新川6-37-1 面積：敷地19,993.79㎡/建築：8,790.62㎡/延床面積：23,677.31㎡
階数：地上5階、地下2階建て
●三鷹中央防災公園 ●SUBARU総合スポーツセンター(1階～地下2階) ●子ども発達支援センター(1階)
●総合保健センター(2階) ●福祉センター(3階) ●生涯学習センター(4～5階) ●総合防災センター(5階)

SUBARU総合スポーツセンター

各種スポーツやトレーニング、水泳などの設備がそろった、スポーツ活動の拠点施設です。団体でのご利用のほか、個人でもご利用いただけるスポーツ教室なども開催します。

スポーツ教室には、
事前受付の定期教室と
当日受付の
ワンコイン教室 があります。
今回は、1回でも気軽に参加できる
ワンコイン教室を紹介します。



問合せ
SUBARU総合スポーツセンター
Tel: 0422-45-1113

▲上記以外にもさまざまなクラスがあります。
詳細は講座申込システム (<https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>) をご覧ください。

総合スポーツセンターは、株式会社SUBARUがネーミングライツ・パートナーとなり、愛称が「SUBARU総合スポーツセンター」となりました。

生涯学習センター

平成29年度

市民大学講座を開講します! ～ともに学び ともに考えよう～

「ともに学び、学びを生かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会を作る」ことを基本目標に、市民一人ひとりの学習を支援します。市民大学では、市民のみなさんとの協働で企画してきた「総合コース」をはじめ、高齢者対象の「むらさき学苑」や子育てなどをテーマとする「一般教養コース」などを開講します。身近な地域の問題から今日の社会や世界を取り巻く問題まで、地域のみなさんと一緒に生涯学習センターでともに学んでみませんか。

① 生涯学習センター

申込期間 4月10日(月)～14日(金)

窓口受付時間 9:00～22:00

	講座名	講師	日程	曜日	時間	定員	保育
総合コース	101 「みたか発! 育児玉手箱」 ～仲間と学ぼう! 子育てのヒント～	お茶の水女子大学名誉教授 内田伸子さん ほか	5/12～3/9 (全30回) *うち10回 自主学習日	金	午前10時～正午	各28人	20人
	102 これからの教育 ～主体的に学び、深く考える力を養う～	中央大学文学部教授 池田賢市さん ほか					
	103 海図のない哲学の大洋を漂流してみよう	明治大学文学部長 合田正人さん ほか					
	104 新しい「経済成長」のミカタ! 本当の豊かさ・幸せの経済とは?	法政大学法学部教授 水野和夫さん ほか	5/13～3/10 (全30回) *うち10回 自主学習日	土	午前10時～正午	10人	なし
	105 曲がり角にある世界 ～日本はどうあるべきか～	東京大学大学院 総合文化研究科教授 古城佳子さん ほか					
一般教養コース	106 むらさき学苑 (60歳以上対象講座)	国際情勢アナリスト 茂木 貴さん ほか	5/16～3/6 (全30回)	火	午前10時～正午	150人	なし
	107 子育て爆々(さんさん)セミナー	産業能率大学総合研究所 講師 三好良子さん	5/9～7/12 (全10回)			25人	20人

東・西多世代交流センター

申込期間 4月10日(月)～14日(金)

窓口受付時間 9:00～17:00

	講座名	講師	日程	曜日	時間	定員	保育
② 東多世代交流センター	201 子育て・生活に役立つ心理学講座	心理カウンセラー 藤山友弘さん ほか	5/18～11/9 (全16回)	木	午前10時～正午	25人	15人
	202 東むらさき学苑 (60歳以上対象講座)	美術ジャーナリスト 斎藤陽一さん ほか	5/9～3/6 (全30回)	火	午前10時～正午	40人	なし
	203 自分の魅力向上講座	日本ボイストレーニング協会 認定講師 宮津みどりさん ほか	5/19～11/17 (全16回)	金	午前10時～正午	25人	15人
③ 西多世代交流センター	301 こどもの才能を伸ばす子育てコーチング ～コーチングを身につけて、子どもの力を大きく伸ばす～	サイタコーディネーション 代表 江藤真規さん	5/19～10/20 (全15回)	金	午前10時～正午	30人	15人
	302 西むらさき学苑 (60歳以上対象講座)	同志社大学特別客員教授 / 東京大学名誉教授 石浦章一さん ほか	5/9～2/27 (全30回)	火	午前10時～正午	70人	なし
	303 味覚アップセミナー ～知ってビックリ! “おいしさ学”～	日本味育協会 代表 宮川順子さん	5/18～10/19 (全15回)	木	午前10時～正午	30人	15人

*東・西社会教育会館は、「東・西多世代交流センター」に名称が変わりました。

申込・問合せ

① 生涯学習センター

三鷹市新川6-37-1 Tel:0422-49-2521

② 東多世代交流センター

(旧東社会教育会館)
三鷹市牟礼2-13-19 Tel:0422-46-0408

③ 西多世代交流センター

(旧西社会教育会館)
三鷹市深大寺2-3-5 Tel:0422-32-8765

講座申込の際の注意事項

- 各講座を開催するセンターの窓口・電話、またはパソコンからお申し込みください。講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>
- 全講座で、同日同時刻開催の講座を重複して申し込みことはできません。
*重複して申し込まれた場合すべての講座の申し込みが無効となります。
- 定員を超えた場合は抽選となります。当選者のみ、はがきでご連絡いたします。
- 受講料は無料です。ただし材料費は自己負担となります。
- 全回出席できる方

星のホール 三鷹市芸術文化センター

CINEMA SPECIAL
男はつらいよ 第19作～第26作 連続上映
 昼の部11:00/夜の部16:00 上映開始
 各回2本立て/昼夜入替制
全席指定 各回 会員900円/一般1,000円/学生800円

4月15日(土) **チケット発売中**
 第25作『寅次郎ハイビスカスの花』第26作『寅次郎かもめ歌』

CINEMA SPECIAL
三回忌・原節子 もう一度、会いたい。
 昼の部11:00/夜の部16:00 上映開始
 各回2本立て/昼夜入替制
全席指定 各回 会員900円/一般1,000円/学生800円

5月13日(土) 『河内山宗俊』『巨人傳』
チケット発売日 会員 4月13日(木)/一般 4月14日(金)

6月10日(土) 『母の曲 総集篇』『わが青春に悔なし』
チケット発売日 会員 5月11日(木)/一般 5月12日(金)

劇団 小松台東『山笑う』 作・演出:松本哲也
5月19日(金)～28日(日) 全12公演
チケット発売日 会員 4月13日(木)/一般 4月14日(金)
全席自由 会員 前売3,100円・当日3,400円
 (日時指定・整理番号付) 一般 前売3,500円・当日3,800円
 学生 2,000円(前売・当日とも)
 高校生以下 1,000円(前売・当日とも)
 *早期観劇割引・平日マチネ割引の回は、**託児あり**
 会員・一般のみ各300円引き。 *5/20(土)のみ

第17回 太宰を聴く ～太宰治作品朗読会～
 朗読:リリー・フランキー **予約1回 2枚まで**
6月16日(金) 19:00開演 **託児あり**
チケット発売日 会員 4月22日(土)/一般 4月27日(木)
全席指定 会員 2,700円/一般 3,000円
 学生 2,000円/高校生以下 1,000円

柳家さん喬 独演会 **託児あり**
6月24日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演
チケット発売日 会員 4月22日(土)/一般 4月27日(木)
全席指定 各回 会員 2,700円/一般 3,000円
 学生 2,000円/高校生以下 1,000円
 *昼の部と夜の部は別の演目です。

立川志らく 独演会 **託児あり**
7月8日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演
チケット発売日 会員 4月16日(日)/一般 4月18日(火)
全席指定 各回 会員 2,700円/一般 3,000円
 学生 2,000円/高校生以下 1,000円
 *昼の部と夜の部は別の演目です。

三鷹のこども寄席 その18 **全席指定**
柳家喬太郎さんの落語で、大笑いするのだ!
7月9日(日)
チケット発売日 会員 4月25日(火)/一般 4月26日(水)
●未就学児の回 11:00開演 (約1時間) *0歳から入場可
 会員 900円/一般 1,000円/小・中学生 500円/未就学児無料
●小学生以上の回 14:00開演 (約2時間)
 会員 1,800円/一般 2,000円/小・中学生 1,000円
託児あり *小学生以上の回(14:00)のみ

柳家喬太郎 みたか勉強会 **託児あり**
7月15日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演
チケット発売日 会員 4月16日(日)/一般 4月18日(火)
全席指定 各回 会員 2,250円/一般 2,500円
 *昼の部と夜の部が、同じ演目になるか
 違う演目になるかは未定です。 各回 **予約1回 4枚まで**

古今亭菊之丞 独演会 **託児あり**
7月23日(日) 14:00開演
チケット発売日 会員 4月22日(土)/一般 4月27日(木)
全席指定 会員 2,700円/一般 3,000円
 学生 2,000円/高校生以下 1,000円

風のホール 三鷹市芸術文化センター
アヴィ・アヴィタル (マンドリン)
& ヴェニス・パロック・オーケストラ
4月23日(日) 14:00開演 **託児あり**
チケット発売中 会員 S席 5,400円・A席 4,500円
 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
全席指定 *U-23 (23歳以下) 3,500円

ジュリアーノ・カルミニョーラ (バロック・ヴァイオリン)
& コンチェルト・ケルン *残席僅少
5月14日(日) 14:00開演 **託児あり**
チケット発売中 会員 S席 6,300円・A席 5,400円
 一般 S席 7,000円・A席 6,000円
全席指定 *U-23 (23歳以下) 4,000円

共催事業 オーケストラ・リベラ・クラシカ
6月24日(土) 15:00開演
チケット発売中 会員 A席シングル 4,900円
全席指定 A席複数*1席当たり 4,500円
 B席シングル 4,100円
 B席複数*1席当たり 4,000円
 一般 A席シングル 6,000円
 A席複数*1席当たり 5,500円
 B席シングル 5,000円
 B席複数*1席当たり 4,500円
 U/U席 2,000円 (中学生以上25歳以下は
 エリア限定・70歳以上はどのエリアでも可)
 子供券*2,000円
 (小学生以下。保護者が同伴の場合のみ。)
***複数券: 取り扱いは窓口・電話販売のみ**
 (同時に同じ券種を2枚以上購入の場合)

主催:
 オーケストラ・
 リベラ・クラシカ
 *共催事業のため、芸術文化センターでのチケット販売エリアが限定されています。

フランチェスコ・トリスターノ
ピアノ・リサイタル
J.S.バッハ: ゴルトベルク変奏曲
7月9日(日) 14:00開演 **託児あり**
チケット発売中 会員 S席 4,050円・A席 3,150円
全席指定 一般 S席 4,500円・A席 3,500円
 *U-23 (23歳以下) 2,500円

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第75回定期演奏会
7月29日(土) 15:00開演 **託児あり**
チケット発売日 会員 4月12日(水)/一般 4月19日(水)
全席指定 会員 S席 5,400円・A席 4,500円
 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
 *U-23 (23歳以下) 3,500円
 ●三鷹市内在住または在学の小学生
 から高校生 2,000円 (電話予約のみ)
 会員・一般券ご購入者と同伴の場合のみ適用

サヴァール・トリオ ヘケルティック・ヴィオール
9月16日(土) 15:00開演 **託児あり**
チケット発売日 会員 4月12日(水)/一般 4月19日(水)
全席指定 会員 S席 5,400円・A席 4,500円
 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
 *U-23 (23歳以下) 3,500円

アンサンブル・ウィーン=ベルリン
10月1日(日) 15:00開演 **託児あり**
チケット発売日 会員 4月13日(木)/一般 4月20日(木)
全席指定 会員 S席 5,400円・A席 4,500円
 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
 *U-23 (23歳以下) 3,500円 (A席限定)

アリーナ・イブラギモワ (ヴァイオリン)
& セドリック・ティベルギアン (ピアノ)
10月8日(日) 14:00開演 **託児あり**
チケット発売日 会員 4月13日(木)/一般 4月20日(木)
全席指定 会員 S席 4,500円・A席 3,600円
 一般 S席 5,000円・A席 4,000円
 *U-23 (23歳以下) 3,000円

●星のホール 三鷹市芸術文化センター
柳亭市馬 独演会 4月16日(日)
桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会 4月22日(土)
春風亭一之輔 古今亭文菊 二人会 5月14日(日)
桂宮治 神田松之丞 二人会 6月11日(日)
 ●三鷹市公会堂
東西狂言の会 5月3日(水・祝)

公演事業では特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
このマークがついている公演には託児サービスがあります。
 料金: 500円 対象: 1歳～未就学児 定員: 10名 お申込み: 各公演の2週間前までに芸術文化センターへ

*U-23利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。特に明記のない公演はS席・A席共通となります。
 *学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。 *公演内容等とは変更になる場合もございます。
 *公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。 *営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。
 *情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もございますので、ご了承ください。 *次号のMARCL+135は5月30日発行予定です。

後援・協力事業

第28回 モンジャーニ
「日本・世界の名曲を楽しむ夕べ」

心のふるさとを求めて
 宮崎京子と陽気な仲間たち

5月27日(土) 15:30 (15:00開場)

会場 三鷹市芸術文化センター風のホール
全席自由 3,000円

出演 宮崎京子、大園麻衣子、佐藤奈美、kyoko親衛隊
曲目 花は咲く、さとうきび畑、東京ブギウギ ほか

■懐かしい曲からオペラのアリアまで、
 気軽に聞いていただけるコンサートです。

主催: (株) レガート
 チケットプレイガイド: (株) リアルクリエート
 電話 0422-44-8511 (担当: 阿比留)

第23回 ピアノジョイントコンサート

6月4日(日) 14:00 (13:30開場)

会場 三鷹市芸術文化センター風のホール
全席自由 入場無料

出演 池谷紗央里、鎌倉裕子、木下裕美
曲目 リスト: 超絶技巧練習曲より「マゼッパ」
 ラフマニノフ: 組曲第2番より1.序奏 4.タランテラ (2台ピアノ)
 スクリャービン: 幻想曲 (2台ピアノ)

■親しみやすいクラシックコンサート。
 今年は2台ピアノも演奏します。

主催・お問い合わせ:
 移蔵門会 (まけるもんかい) 高井
 電話 0422-55-3553

ICU宗教音楽センター・レクチャーコンサート
“Sacred Sight, Sacred Sound”

曼荼羅をさく、アヴェ・マリアをみる

6月10日(土) 14:00 (13:30開場)

会場 ICUティッフェンドルファー記念館
 オーディトリウムホール
 三鷹市大沢3-10-2

*JR中央線三鷹駅または武蔵境駅南口バス
 「ICU行き」終点下車

全席自由 前売券 1,000円/当日券 1,500円
 *未就学児は入場不可

講演 伊藤亜紀 (ICU教授)、小笠原隆浩 (真言法曹会代表)
出演 山本富美 (ソプラノ)、岩崎真実子 (オルガン)、真言法曹会 (声門)

主催・お問い合わせ: 国際基督教大学 宗教音楽センター
 電話 0422-33-3330 E-mail: smc@icu.ac.jp
 HP: http://subsites.icu.ac.jp/smc/
 Facebook: https://www.facebook.com/icu.smc